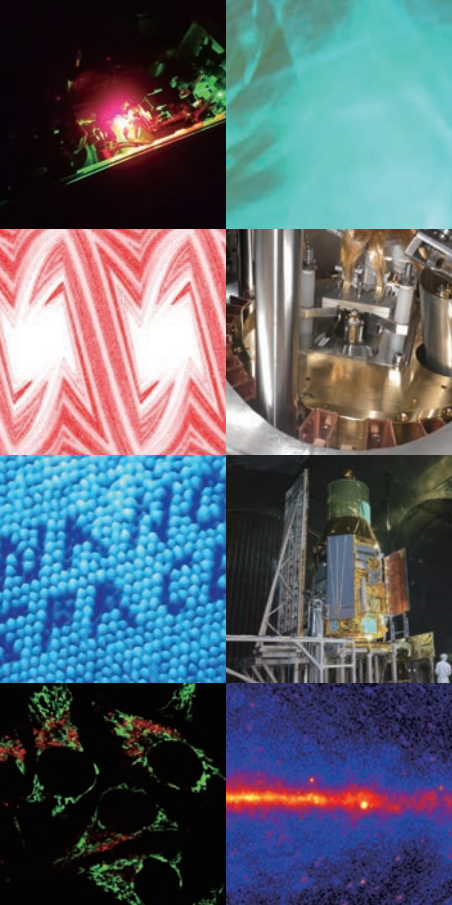
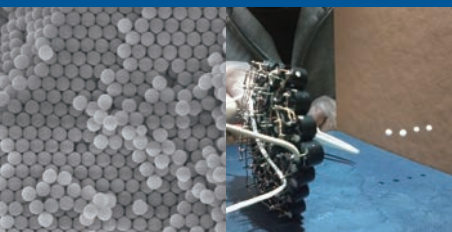




早稲田大学先進理工学部

School of Advanced Science and Engineering

「研究の早稲田—先進のその先へ—」



物理学科

応用物理学科

化学・生命化学科

応用化学科

生命医科学科

電気・情報生命工学科

<http://www.ase.sci.waseda.ac.jp/>

先進理工学部 検索

検索



QRコードで公式サイトにアクセス!

学部長に聞く

Interview to dean

早稲田大学 先進理工学部長・研究科長

生命医科学科 教授

朝日 透

Toru ASAHI

学問の基礎から、 独創的研究の実行能力までを身につける場



経験を通してプレゼンテーション能力を磨くことができるほか、コミュニケーション能力、研究倫理の教育も重視しています。

分野を広げるとともに、 研究者育成の仕組みを整える

Q. 今後の展望を教えてください。

1つめは、自然科学と情報科学の融合分野や、ナノテクノロジーや量子テクノロジーを活用した融合分野を強化していくことです。これまでも融合分野の教育・研究を進めてきましたが、分野をさらに広げるとともに、AIを中心とする最新テクノロジーを取り込んでいきたいと思っています。

2つめは、博士学位を目指す学生に、俯瞰力や、海外の学生や研究者と渡り合えるような能力を身につけてもらうための機会を増やすことです。先進理工学部・研究科のみならず、本学が採択されている公募型研究プロジェクトや人材育成プログラムを活用するとともに、有識者によるセミナーや公開シンポジウムを独自に開催できればと考えています。

3つめは、コロナ禍で身近になったオンライン・コミュニケーションツールの活用です。教育においては、対面授業とオンライン授業を相補的に使って、教育効果を上げていきたいと思っています。研究においては、海外の研究者や国内外の企業などとの連携や協働を通して、指導やアドバイスを得られるよう、オンライン・コミュニケーションツールの活用を学生たちに推奨していきます。

アントレプレナーシップをもつ人材を増やしたい

Q. 在学生や受験生へのメッセージをお願いします。

先進理工学部では、真理の追究に必要な基礎も、課題解決につながる実践的な基礎も学ぶことができます。大学院に進めば、学術論文や国際会議での成果発表を通じて国際的に自分を試す機会が用意されています。こうした教育・研究に魅力を感じ、独創的な研究をして世界に羽ばたきたいという志と心意気を持っている方たちは、ぜひ来ていただきたいと思っています。

昨今、新しいものを生み出し、失敗を恐れず挑戦する姿勢や能力を指す「アントレプレナーシップ」という言葉をよく耳にします。先進理工学部・研究科が、皆さんのアントレプレナーシップを伸ばす場となり、卒業・修了後に、アカデミアや産業界をリードする人材になってくれればうれしいです。

Q. 先進理工学部の特徴を教えてください。

自然科学をベースとする物理学、化学、電気・電子、生命科学などの学問と、それらを社会の役に立つ形に発展させるための技術を教え、それらの学問に基づく先端かつ実践的な研究を展開しています。

教育内容の一番の特徴は、先端の科学も取り入れた重厚な実験科目群が必修であることです。まず、どの学科の学生も物理学、化学、生命科学など基礎的分野の実験科目を履修し、その後、学科ごとの専門実験を履修します。

大学院では、一つの専門性を深掘りするだけでなく、学際的な研究に取り組むことも可能です。

アカデミアに限らず、産業界でも役立つスキル

Q. 研究活動を通して、学生はどのようなことを身につけていきますか？

学部生には大学院へ進むことを強く推奨しており、大学院進学率は非常に高いです。このため、学部4年生の卒業研究は、独創的な研究に取り組むための訓練と位置づけ、研究テーマの設定の仕方と研究の進め方を学んでもらっています。新しい実験装置やプログラムをつくったり、新しい解析方法を考えたりする中で、独創的な研究を行う能力が身につけていきます。

大学院では、研究成果を国内外の学会やシンポジウムなどで発表する



鈴木皓介

Kohsuke Suzuki

物理学科 4年

知的好奇心の赴くままに、 物理を探究できる場所

物理学科では、自分の知的好奇心を好きなだけ満たすことができます。物理学の対象は、まさにこの世界の全てです。多岐にわたる分野に触れながら、自分の世界観が広がっていく楽しみを味わうことができます。学部4年間では足りないと感じることになるでしょう。

私が物理学科で勉強してきて重要だと感じたことは、数式1行に徹底的にこだわる根気強さ・わかりやすく説明する技術・他人と議論する能力です。科学理論は客観的事実によって反証できなければなりません。論理が飛躍していないか？実験結果はどのくらい正しいのか？など、いくら考えても尽きない課題に向き合うことになります。演習・実験・ゼミを通じて、数式と睨めっこしたり、自分の考えを発表したり、友人と議論を重ねたりすることで、これらの力が自ずと身に付きます。

「物理について悩み続けること」を楽しめるあなたなら、物理学科で自分がワクワクすることを追求できると思います。



皆川遼太郎

Ryotaro Minagawa

応用物理学科 4年

物理学の様々な応用に触れて、 自らの探究心を存分に高める

一言で「物理学」と言ってもその中には様々な分野があり、その応用先も幅広いです。応用物理学科では物理学の基礎を学びながら幅広い分野に触れる機会に恵まれており、その点が魅力の一つだと思います。特に学部1年で受講する「物理入門」という授業では担当の先生が毎回変わり、それぞれの専門や研究についての話をしているだけなので物理学に対する考え方や捉え方を大きく広げることができると思います。私の所属している片岡研究室はX線・ガンマ線を軸として「宇宙から医療まで」というテーマを掲げており、まさに物理学の応用の幅広さを体感できるような研究を日々行っています。

なんとなく物理学に興味はあるけれど「この分野のこの研究をやりたい」といった明確なビジョンを持っていない方でも、応用物理学科として過ごす時間の中で自分のやりたいことを見つけられるチャンスは大いにあります。なので少しでも物理学に興味がある方には魅力の詰まった応用物理学科をお勧めしたいです。



古賀聡一郎

Souichiro Koga

化学・生命化学科 4年

4分野の化学を網羅して学ぶことで 見える今後の方向性

化学・生命化学科は、3年間を通して、有機化学、無機化学、物理化学、生命化学の知識を各分野のエキスパートである先生方が丁寧に教えてくださり、化学について幅広く学べる点が大きな特徴です。また、演習や実験科目も充実しており、知識や経験を存分に深められます。そのため、研究室配属前に各分野を一通り習得でき、かつ化学の中で具体的に何に興味があるのかを明確にした状態で研究室配属に臨むことができます。私が所属する古川研究室では、物理化学の観点からCO₂・エネルギー問題の解決に取り組んでいます。私は今、排熱を電気に変える熱電素子への応用を主に見据えた、より有用なn型の導電性ポリマーの開発を目指し、合成と様々な分光法を利用した物性評価に取り組んでいるところです。自分が一番興味のある分野の知識を研究に生かせるので、研究は非常に充実しており、日々情熱をもって励むことができます。

本学科は、化学が好きで具体的に自分がやりたいことを見つけないという思いがある人こそおすすめできる学部です。そのような思いがある人はぜひ本学科を視野に入れてほしいです。



高藤 茜

Akane Takato

応用化学科 4年

役立てる化学の面白さ ～幅広い分野への応用～

高校生時代、先生の影響で身近にある化学の面白さに気づき、基礎と応用の複合的な視点に立って、化学を勉強してみたいと思ったことがきっかけで、役立てる化学を学ぶことのできる応用化学科に進学しました。

私の配属先である、高分子研究室では、高分子を用いて日常生活に役立てる化学を学んでいます。私は、色素を高分子で包み込みカプセル化することで、色素の対候性を上げる研究を行っています。

応用化学科では、いろいろな分野・領域のつながりを十分に意識しながら、多角的・総合的な観点から化学の勉強・研究に励むことができます。また、実験科目が多く、グループで実験するので他の学科よりも多くの友人を作ることもできます。講義以外でも、社会人の先輩たちや先生方と関わることも多く、将来の進路の相談をしやすいのも大きな魅力の一つです。私は勉強だけではなく様々なことを経験できる応用化学科に入って本当に良かったなと思っています。



百田悠人

Yuto Hyakuda

生命医科学科 4年

多面的に生命現象を解き明かし、 次世代の医療を開発する

生命医科学科では、「理工学」と「医学」を融合させた新しい医学を学ぶことができます。物理・化学・生命科学などの幅広い基礎知識を存分に蓄えながら、学年が進むにつれて講義は専門的になっていきます。特に、少人数のグループで実施される実験科目では、高校まででは決して体験することのできない生命現象に触れることができます。学部時代から“TWIns”と呼ばれる恵まれた研究施設で学べることも、この学科の魅力の1つです。

私が所属する合田研究室ではマウスや細胞を用いて、生活習慣病に関連する研究を行っています。私は肥満病態に影響を及ぼす遺伝子の機構について研究をしていますが、教授や先輩方からの手厚いサポートを受けながら充実した毎日を送っています。

既存の枠組みにとらわれず、幅広い分野を学べる生命医科学科だからこそ、各々のやりたいことが見つかるはずです。新たな生命医科学の扉を開いて、最高の大学生活を送りましょう。



金 泉水

Izumi Kim

電気・情報生命工学科 4年

興味好奇心に従って 幅広く俯瞰的に学べる学際的な環境

電気・情報生命工学科（電生）の魅力は、なんといっても学問の幅広さと融合性です。電生では、電気・電子・情報・生命を基幹分野として、興味に基づいて多様な科目を多角的に学ぶことができ、学部3年秋から所属する研究室では、幅広い知識を活かした異分野融合型の研究を行うことも多くあります。入学時には具体的な専攻を絞り込めなかった私も、生命系の科目を中心に情報や電気、工学などの異分野も積極的に広く学んだことで、俯瞰的な知識や視点を得ることができ、視野が広がったと同時に、自身のやりたいことを選択することができました。関連性がなさそうな科目も、考え方のアプローチや作法は違えど根本は繋がっていると幾度も感じられたのが面白かったです。

幅広いのは学問だけではなく。電生には多方面に興味を持って頑張っている人や秀でている人がたくさんいて、刺激のある楽しい学生生活が送れると思います。

やりたいことが決まっている人もそうでない人も、ぜひこの魅力あふれる環境で学び、研究し、新しい経験をしてみませんか？

野海果穂

物理学科
2年



7:00 起床

朝は急ぎたくないで少しゆとりをもって起きるようにしています。基本この時間に起床しますが、洗濯や化粧をしなければならぬ日はさらに早い時間に起きることもあります。

8:50~10:30 1限 解析力学

古典力学を体系的にまとめた、物理学の基礎となる科目です。毎回課題が出され、難しかったり大変な思いをすることもあります。専門科目や現代物理学につながる重要な科目なので、きちんと理解しておきたいです。

10:40~12:20 2限 イスラム文化研究

イスラームの文化や歴史、戒律などを学びます。必修ではありませんが、授業で初めて知ったことも多く、異文化理解にもつながります。



フリースペースで友人と

13:10 昼食

この日のように3限がない日は混雑を避けるために、時間をずらしてカフェテリアで昼食をとります。別の日には、次の授業がある教室や自習スペースで友達と一緒にご飯を食べることが多いです。

13:30 自習

カフェテリアや自習スペースで課題に取り組んでいます。友達と空きコマがかぶっているときは、一緒に協力して問題を解いています。



自習ができるスペースが充実

15:30 帰宅

この日は夕方に野球の基礎練習に参加するために早めに帰宅しています。そうでない日は、夕方まで授業を受けたりキャンパスで自習したりします。その後は家で課題をやったりバイトに行ったりします。

受験生へのメッセージ

物理学科を目指している方はきっと物理が好きだったり得意だったりすると思います。大学では、その物理をより深く専門的に学ぶことができます。今は不安や苦しさでいっぱい、モチベーションが下がることもあるでしょうが、大学生活への期待を胸に、息抜きをしつつ、諦めずに頑張ってください！

坪山 準

応用物理学科
2年



6:00 起床

家が大学から遠いのと、昼食代を浮かす為に弁当を作るのでこの時間に起きます。また、講義が2限目からの時は早めにキャンパスに行き提出する課題に取り組みます。



友人と一緒に登校

10:40~12:20 2限 電磁気学A

この世の全ての電磁気現象を導けるマクスウェル方程式がクーロンやファラデー、アンペールによって発見された方式からどのように集約されていったかを講義して頂けます。

12:30 昼食・自習

普段は弁当ですが、財布にゆとりがある時は日替わりのキッチンカーを利用します。昼食後は51号館のラウンジで友人と自習や他愛もない会話が盛り上がることもあります。



キャンパス内のラウンジにて

15:05~16:45 4限 Academic Reading

ネイティブの教授方が全て英語で講義を行なって下さいます。この講義では生徒同士のディスカッションを数多く行いペーパーテストと違った緊張感と楽しさがあります。

17:00~20:35 5限 物理学演習

講義に合わせて解析力学や量子力学、熱力学、電磁気の演習を行います。演習時間は3時間以上あり、難解な問題ばかりですが友人と意見を出しながら解くのは楽しさもあります。

23:00 帰宅

家庭教師のアルバイトを行ったり、友人と外食やカラオケ、サークル活動を楽しんでから帰宅します。その日の講義の内容を読み返し整理したら、次の日の準備をして就寝します。

受験生へのメッセージ

学びたい知識をその分野の最先端研究を行っている第一線の教授方が惜しみなく披露し、同じ志をもつ友人達と議論しながら本質から発展まで身につけることができます。入学したら課題やテストに追われ忙しい日々にはなるとは思いますがサークルやアルバイトを含めて充実した大学生活を楽しみましょう！

難波和佳奈

化学・生命化学科
2年



6:30 起床

1限から授業があるので、早めに起床して準備します。食事つきの学生寮に住んでいるので、朝は時間にゆとりがあります。学校には25分ほど歩いて通っています。



25分ほど歩いて登校

8:50~10:30 1限 Academic Reading

英語で書かれた論文やサイエンスニュースを読んだり、専門的な英単語を学んだりしています。今年から対面授業になったので、先生との会話も楽しんでいます。

10:40~13:10 自習・昼食

学科の友人と励ましあいながら、次の実験の予習や各授業のレポート課題、テスト勉強などを行っています。昼食は、学食やキャンパス内に設置されるキッチンカーなどで購入しています。



カフェテリアで一休み

13:10~18:40 3~5限 無機分析化学実験

滴定や錯体の合成など、基本的な実験操作を学んでいます。実際に白衣を着て、自分用の実験器具を用いて行う実験は、本格的でとても楽しいです。

授業後~19:30 自習

実験後、ラウンジでレポートを書いています。レポートには結果や考察だけでなく、英文アブストラクトを書く必要があるのが大変ですが、将来の自分のためになると信じて頑張っています。

20:00 帰宅

夕食後、SNSやテレビを見て1日頑張った自分を癒しています。次の実験の事前課題やプレレポート、教職科目の学習指導案作りや模擬授業の練習を行うこともあります。

受験生へのメッセージ

本学科では、化学反応を覚えるだけでなく、なぜそうなのか、どうすれば効率の良い反応になるかなどを自分で考え、理解することが大切です。高校でただ覚えただけの現象を自分の力で説明できるようになると、化学が今までとはまったく別の物に見えてきます。化学の本質に迫れるのが、この学科の魅力だと思います。

水垣孝紀

応用化学科
2年



7:20 起床

この日は2限からなので起きるのはいつもより遅いです。その後1時間程度かけて大学に10時くらいに着きます。友人に会うとほっとしますね。

10:40~12:20 有機化学

有機化学の講義では有機化学反応のメカニズムを学びます。板書の量が多く大変です。自分は一ヶ月でノート一冊を使い切りました。

12:30 昼食

普段は学食や大学の外で昼食を食べることが多いですが、2、3限の間は学食が混むと次の実験は遅刻厳禁なのでキッチンカーを利用することも。



友人との会話で気分転換

13:10~15:30 実験

隔週で、試料を装置で分析する無機・分析化学系の実験と、プラントのように配管がめぐらされた実験室で行われる化学工学系の実験が行われます。終了時刻は週によってまちまちです。

16:40 バス移動

大学の他キャンパスから少し離れた西早稲田キャンパスからは学生が無料で乗れる連絡バスが走っています。



サークルに参加するために戸山キャンパスへ

17:00~20:00 サークル

自分の所属するサークルは平日に戸山キャンパスの学生会館で練習があります。この時間学生会館では他のサークル活動も活発に行われます。

受験生へのメッセージ

応用化学科では一口に化学と言っても様々な分野の化学を学ぶことができます。実験やレポートで忙しいこともありますがそれだけ身につくことは多いですし、苦しさを共にした同じ学科の人たちとは確実に仲良くなれます。サークルやバイトの両立も全然できます。皆さんと応用化学科と一緒に過ごせることを楽しみにしています。

増田友里

生命医科学科
2年



6:30 起床

1限の授業がある日は6:30に起床します。通学中は自動車免許取得のための勉強や英単語など、混雑した電車内でもできることを見つけ、少しの時間でも有効に活用できるよう工夫しています。

8:50~10:30 1限 物理化学B

1年次に履修した物理化学Aに続く必修科目で、量子論や原子の構造について学んでいます。内容が難しいので復習を重点的に行うようにしています。



次の授業の教室に急ぎます

10:40~12:20 2限 過去の伝承

様々な地域や時代における神話や伝説について学んでいます。私は神話をもとにした本を好んでよく読むので、この授業を毎週楽しみにしています。

12:30 昼食

昼食は学科の友達と学食で食べることが多いです。どれも美味しいのでいつもなかなかメニューを決められません。授業やサークルのことをのんびりと話しながら食事をします。

13:10~18:40 3~5限 生命医科学実験I

実験の多くは東京女子医科大学との連携施設、TWInsで行われます。充実した実験設備のもとで医学や生命科学、化学に関する専門的な実験を行います。



キャンパス内のコーヒESHOPで

19:30 帰宅

授業が終わったら帰宅し、家で自習します。授業で出た課題や実験のレポート、授業の復習をしますが、どんなにやりたいことがあっても0時ごろには就寝するようにしています。

受験生へのメッセージ

生命医科学科では、理学、工学、医学をどれも深く学ぶことができます。生命や医療に興味があるけれど、どのようにアプローチをしたいかわからない、決められないという受験生の方におすすめしたい学科です。また学科内で縦横の繋がりがあ、アットホームな居心地の良さも魅力の一つだと感じています。

窪田総介

電気・情報生命工学科
2年



7:30 起床

自宅が大学の近くのため、1限がある日はこの時間帯に起きてもギリギリ間に合います。また授業が午後からの日はこれよりも少し長めに睡眠をとります。



家が近いので歩いて登校する

8:50~10:30 1限 独語初級1B

第二外国語としてドイツ語について学んでいます。1限ということもあり6~7人ほどの少数クラスではありますが、先生との会話が弾むためとても楽しいです。

12:20~ 昼食

昼食は、カフェテリアがとても混雑しているため、リコパンや63号館の唐揚げ弁当、またキッチンカーで購入したものを友人と外で食べています。



友人と会うとついつい長話しに

15:05~16:45 4限 遺伝学

古典遺伝学から現代の分子遺伝学、ゲノム編集に関する基本概念を、科学史と絡めながら学んでいます。この授業も数人と少人数ですが、内容が面白く一番好きな授業です。

17:00~18:40 5限 回路理論A

交流回路の基礎概念や特性について授業の前半で講義を受け、後半で演習に取り組んでいます。苦手科目でもあるので、毎日必死に勉強しています。

22:00 帰宅

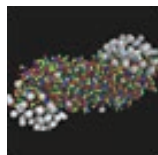
授業が終わった後は、戸山キャンパスの方へ移動してサークルの練習に参加します。また練習がない日は、友人とよく夕飯を食べに行きます。帰宅後は授業の復習をしたり、ゲームをしたりと、自由に過ごします。

受験生へのメッセージ

電気系、情報系、そして生命系と幅広い分野の学問を学ぶ道が開かれているのが、本学科最大の強みです。大学入学後に本学科では自分の専門を徐々に選べるため、様々な分野の学問に手を伸ばす絶好の機会を得られます。受験勉強を乗り越えて、ぜひ電気情報生命工学科で好きな分野を探索しに来てください。

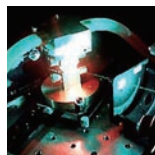
学科・専攻一覧

学科・専攻



物理学科／ 物理学及応用物理学専攻

素粒子・宇宙から生物までの
自然現象を解明する



応用物理学科／ 物理学及応用物理学専攻

次世代技術の芽と
新しい物理をつくる



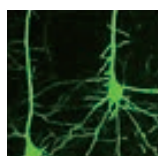
化学・生命化学科／ 化学・生命化学専攻

生命体を含む全ての物質を
原子・分子から見つめる



応用化学科／ 応用化学専攻

役立つ化学・役立てる化学



生命医科学科／ 生命医科学専攻

医・理・工学融合で生命科学を極め、
未来医療を創る

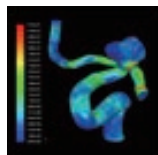


電気・情報生命工学科／ 電気・情報生命専攻

生命科学と電気電子情報工学がおりなす
多様なフィールドが設けられています。
なりたい自分がきっと見つかります。

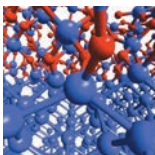


学際専攻



生命理工学専攻

「先端バイオ」と「先進理工」の
協奏で未来を拓く

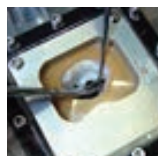


ナノ理工学専攻

1粒の光・電子、
1つの原子・分子の新機能を発揮させ、
豊かな暮らしを実現する



共同専攻



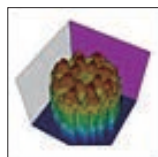
共同先端生命医科学専攻 (早稲田大学—東京女子医科大学)

先端医療機器、創薬、再生医学の迅速な
臨床への導入を実現する



共同先進健康科学専攻 (早稲田大学—東京農工大学)

生命科学、環境科学、食科学の分野から
健康科学の教育と研究を推進し、
社会に貢献できる新しい人材を育成



共同原子力専攻 (早稲田大学—東京都市大学)

先進原子力エネルギーと
放射線応用が創る新しい世界



先進理工学専攻

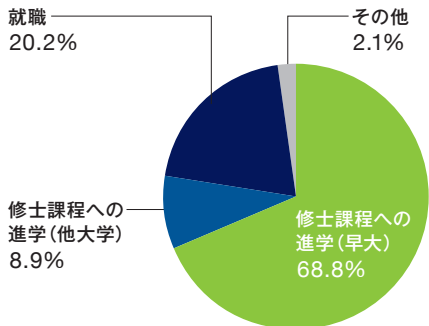
物理、化学、生命科学、電気・電子など、
複数分野の課題が複雑に絡むグローバルイシューの
解決に資する力を身に付け、国際的な舞台で
活躍するグローバルリーダーを育てる
5年一貫制博士課程



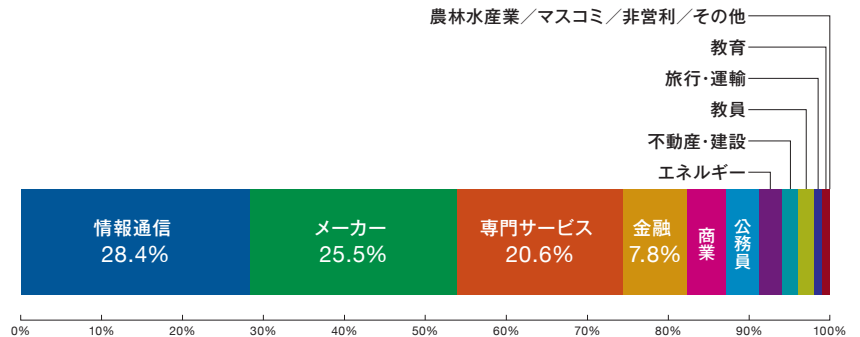
QRコードで公式サイトにアクセス！

学部から大学院への高い進学率

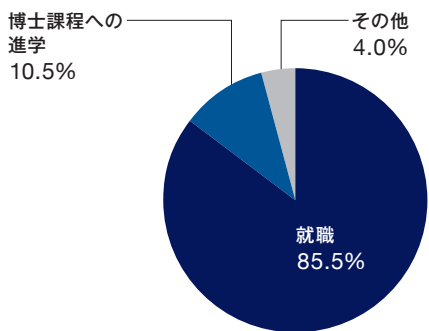
先進理工学部卒業生の進路



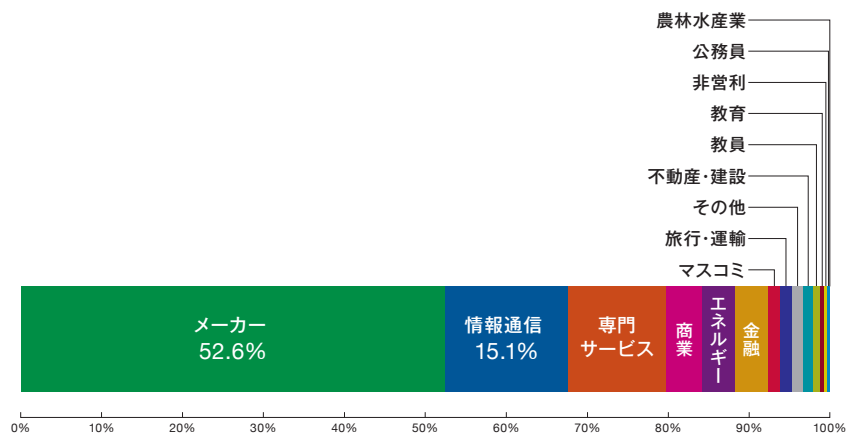
先進理工学部卒業生の就職先



先進理工学研究科(修士課程)の修了生の進路



先進理工学研究科(修士課程)の修了生の就職先



主な就職先

- | | | | |
|------------------------|------------------|-------------------------|---------------------------|
| ●野村総合研究所 | ●SCSK | ●デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー | ●富士フイルムビジネスイノベーション |
| ●日立製作所 | ●住友化学 | ●日本放送協会 (NHK) | ●積水化学工業 |
| ●NTTデータ | ●ニコン | ●NECソリューションイノベータ | ●JERA |
| ●ENEOS | ●古河電気工業 | ●PwCあらた有限責任監査法人 | ●シティ・コム |
| ●日本アイ・ビー・エム (日本IBM) | ●楽天グループ | ●農林中央金庫 | ●アマゾンウェブサービスジャパン |
| ●PwCコンサルティング | ●国家公務員一般職 | ●ソニー | ●三菱UFJリサーチ&コンサルティング |
| ●三菱ケミカル | ●みずほフィナンシャルグループ | ●ベネッセコーポレーション | ●PwCアドバイザー |
| ●ソニーセミコンダクタソリューションズ | ●アビームコンサルティング | ●日本銀行 | ●JFEスチール |
| ●東芝三菱電機産業システム | ●NTTドコモ | ●日本経済新聞社 | ●パナソニックホールディングス |
| ●DIC | ●アマゾンジャパン | ●三井物産 | ●IHI |
| ●キオクシア | ●日本生命保険 | ●東日本電信電話 (NTT東日本) | ●いすゞ自動車 |
| ●富士通 | ●ソフトバンク | ●東京電力ホールディングス | ●豊田自動織機 |
| ●アクセントチュア | ●シンプレクス・ホールディングス | ●プロジェクトカンパニー | ●内田洋行 |
| ●三菱UFJ銀行 | ●伊藤忠テクノソリューションズ | ●大日本印刷 | ●朝日生命保険 |
| ●日産自動車 | ●三菱重工 | ●NTTコミュニケーションズ | ●都市再生機構 (UR都市機構) |
| ●日鉄ソリューションズ | ●東レ | ●本田技研工業 | ●東急 |
| ●東芝 | ●大和総研 | ●早稲田大学 | ●東京電力エナジーパートナー |
| ●日本マイクロソフト | ●AGC | ●神奈川県職員 I 種 | ●富士通Japan |
| ●旭化成 | ●ダイキン工業 | ●あいおいニッセイ同和損害保険 | ●日建設計 |
| ●昭和電工 | ●カブコン | ●東急不動産 | ●オリエンタルランド |
| ●東京エレクトロン | ●パナソニックコネクタ | ●東日本旅客鉄道 (JR東日本) | ●伊藤ハム |
| ●キャノン | ●ソニーグループ | ●NTTコムウェア | ●ブリヂストン |
| ●ベイクレント・コンサルティング | ●三菱自動車工業 | ●住友電気工業 | ●パナソニックインダストリー |
| ●国家公務員総合職 | ●東海旅客鉄道 (JR東海) | ●かんぽ生命保険 | ●マツダ |
| ●リクルート | ●日本電信電話 (NTT) | ●西日本旅客鉄道 (JR西日本) | ●あおぞら銀行 |
| ●EYストラテジー・アンド・コンサルティング | ●信越化学工業 | ●Zホールディングス | ●電源開発 |
| ●デロイトトーマツコンサルティング | ●三菱電機 | ●デロイトトーマツサイバー | ●東京電力パワーグリッド |
| ●キーエンス | ●ニトリ | ●KPMGコンサルティング | ●東芝デジタルソリューションズ |
| ●凸版印刷 | ●日本電気 (NEC) | ●アサヒビール | ●新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) |
| ●東京瓦斯 (東京ガス) | ●大和証券 | ●三菱マテリアル | |
| ●ヤフー | ●KDDI | ●クボタ | |
| ●富士フイルム | ●野村證券 | ●トヨタ自動車 | |

データ提供: 早稲田大学 キャリアセンター

URL: <https://www.waseda.jp/inst/career/about/data/>